

## 「岩手学」

学校名	盛岡中央高等学校
-----	----------

### 1 本校における取組の立場

- (1) SGH アソシエイト校としてのプログラムの一環としての課題研究 (SZ・Z コース)
- (2) 総合的な学習の時間における課題研究 (A・B コース)

### 2 岩手学

岩手県における主要な産業は農林水産業であり、食物自給率は 100%を超え、都市部への農林水産物の供給地となっている。しかしながら、岩手県の農業経営はその規模による効率性や後継者問題などの問題から持続的な発展が難しい現状にある。このような当地の農林水産業における問題は一次産業に共通した問題でもあり、グローバル社会の到来によって県内の独立性の強い産業の領域から新たな産業形態への革新が期待される。こうした現状を踏まえ、岩手県の一次産業にイノベーションをもたらすことをテーマとし、特に農業、林業、畜産業及び水産業を題材として課題研究を行っている。

### 3 主な活動 (1. 2年生の2年間で岩手学Ⅰ、岩手学Ⅱとして実施)

- (1) 岩手県の第一産業についての問題認識と課題設定 (グループワーク)
- (2) 課題解決に向けた研究グループワーク
- (3) 文化祭におけるポスター掲示 ((1)(2)のまとめ)
- (4) フィールドワーク (釜石、北上、重茂、八幡平、葛巻、遠野 など)
- (5) 岩手大学農学部出前講座
- (6) 講演会 (2か月に1回程度)
- (7) 成果発表会

### 4 成果発表

#### (SZ・Z コース)

岩手県の一次産業にイノベーションをもたらすことをテーマとした課題研究は、第一次産業を世界に通用する産業へと革新を起こすようなビジネスプランの作成に展開し、校内におけるポスターセッション、プレゼンテーションなどの発表会を実施している。

#### (A・B コース)

岩手県の一次産業に対する理解を深めることを目的に課題研究を進め、岩手県の第一次産業の魅力をもとめたポスターセッションを1年次に、岩手県の第一次産業の課題と解決に向けたアイデアを発表するプレゼンテーションを2年次に行っている。

### 5 その他の取り組み

本校 SGH アソシエイト校としてのプログラムを経験し、岩手県の第一産業についてより深く研究したいという意欲を持つ生徒で結成されたグループが海外フィールドワーク、第一産業についての海外姉妹校との共同研究を行い、毎年8月下旬に行われる CHUO 国際教育フォーラムにてプレゼンテーション発表を行っている。



